

1. 評価結果概要表

作成日 平成 20年 8月 10日

【評価実施概要】

事業所番号	0170401780		
法人名	(株)Human-system Japan		
事業所名	グループホーム 自由の大地		
所在地	札幌市手稲区稲穂3条2丁目11-7 (電 話) 011-683-3300		
評価機関名	(有)ふるさとネットサービス		
所在地	札幌市中央区北1条西5丁目3 北1条ビル3階		
訪問調査日	平成20年8月7日	評価確定日	平成20年8月29日

【情報提供票より】 (20年7月1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和・平成 18年 3月 21日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	16 人	常勤 14人 非常勤 2人 常勤換	15.5人

(2) 建物概要

建物構造	木造	造り
	2 階建ての	1 ~2 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	40,000円	その他の経費(月額)	水道光熱費27,000円 11~3月 7,000円
敷 金	有(40,000円) ・ 無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有()円	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	250 円	昼食 400 円
	夕食	500 円	おやつ 100 円
	または1日当たり 1,250 円		

(4) 利用者の概要 (8月 7日現在)

利用者人数	18 名	男性 6 名	女性 12 名
要介護 1	2 名	要介護 2	6 名
要介護 3	9 名	要介護 4	1 名
要介護 5	0 名	要支援 2	0 名
年齢	平均 81 歳	最低 52 歳	最高 93 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	医療法人友善会 宮の沢ファミリークリニック・さくらデンタルクリニック
---------	------------------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

緑が豊富な住宅街にある自然環境に恵まれた、眺望の良い2階建ての新しいグループホームである。職員間の人間関係が良好で利用者の安心感をもたらしている。家族との連絡に「居室ノート」という連絡帳を使い、家族との意見交換に大きく役立っている。また、きめの細かいケアプランを作成しており、プランの職員間の共有も十分なされている。利用者の「尊厳」を尊重し、希望やペースに沿って楽しく生活してもらうことを心がけ実践されている。医療や看護の支援体制も整っている。地域との関係づくりも積極的に進められている。

【重点項目への取組状況】

重点項目	①	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) 地域密着型の理念、地域との付き合いについて、取り組みを強化し改善している。
	②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 職員が話し合い自己評価を作成しているが、ユニット毎に独自のものとはなっていない。ガイドブックの活用や取り組み項目のスケジュール化は、まだ十分とはいえない。各ユニットでガイドブックをさらに活用し、取り組み項目の優先順位を決め、スケジュール化するなど、自己評価の取り組みに期待する。
重点項目	③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6) 2~3ヵ月に1回のペースで運営推進会議を開催し、それぞれテーマを設定し活発に意見交換している。会議時に合わせて避難訓練や介護講習を組み合わせ、住民参加を促している。
	④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8) 来訪時に家族に意見をいただくほか、運営推進会議でも意見をいただいている。そのほか「居室ノート」(連絡帳)にも意見を書いていただき、苦情箱も設置している。重要事項説明書に第三者の苦情処理機関を明示している。
重点項目	⑤	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 小学校との交流が活発化し、学習発表会で児童の訪問を受けたり、学芸会には利用者が学校を訪問している。町内会のジンギスカンパーティーなどの行事にも積極的に参加している。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	元々の「自由で尊厳のある楽しい生活を支援します」という理念の頭に「地域に溶け込んだ」という文言を加え、地域密着を重視した取り組みを進めている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念はホームの見やすい場所に掲示され、ミーティングなどで職員全員で確認している。ホームだよりも毎回、理念を掲載しており、家族の方々とも共有化されている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	小学校との交流が活発化し、学習発表会で児童の訪問を受けたり、学芸会には利用者が学校を訪問している。町内会のジンギスカンパーティーなどの行事にも積極的に参加している。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	職員が話し合い自己評価を作成しているが、ユニット毎に独自のものとはなっていない。ガイドブックの活用や取り組み項目のスケジュール化は、まだ十分とはいえない。	○	各ユニットでガイドブックをさらに活用しながら、取り組み項目の優先順位を決め、スケジュール化するなど、自己評価の取り組みに期待する。

札幌市手稲区 グループホーム 自由の大地

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2～3ヵ月に1回のペースで運営推進会議を開催し、それぞれテーマを設定し活発に意見交換している。会議時に合わせて避難訓練や介護講習を組み合わせ、住民参加を促している。		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	区や市の管理者会議にも参加し、緊密な情報交換ができる体制となっている。運営推進会議には、地域包括支援センターの職員に参加いただき情報交換を行なっている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	月に1度ホームだより、近況報告、金銭出納報告を送付している。また利用者の部屋に「居室ノート」（連絡帳）を設置し、家族とホームの細かな意思疎通に役立っている。家族から直接意見をいただくことも多くなっている。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	来訪時に家族に意見をいただくほか、運営推進会議でも意見をいただいている。そのほか「居室ノート」（連絡帳）にも意見を書きいただき、苦情箱も設置している。重要事項説明書に第三者の苦情処理機関を明示している。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の交替がある場合は、利用者に対し影響を与えないよう「少し休んでいる」と話すなど、利用者に配慮しながら、次の担当者に慣れてもらうようにしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	管理者が内部研修を実施している。外部研修には管理者やリーダーが参加しているが、ほかの職員の参加機会は、まだ十分とはいえない。	○	職員を段階に応じて育成する計画をたて、管理者やリーダー以外の職員が、外部研修に参加する機会の確保を期待する。
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	近隣の老健施設や病院関連施設との交流は活発であるが、ほかのグループホームとの交流は十分ではない。	○	管理者や職員が、ほかの業者とのネットワーク作りや勉強会、相互訪問などの活動を通じてサービスの質の向上を図れるよう、地域内外のほかの業者との交流機会を増やす取り組みを期待する。
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居前に2回以上職員が利用者にお会いし、馴染みの関係を築いた上で入居していただいている。ほかの利用者との相性も考慮し、入居を決定している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者の「尊厳」を尊重しており、職員全員が「教えてもらうこと」を大事にしている。利用者から学んだり、支え合う関係が築かれている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ケアプラン会議で、職員が利用者について知ったことを発表してもらい、共有化している。利用者の生活歴を記録している。家族からも利用者の希望をヒアリングしている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	毎月ケアプラン会議をユニット毎に開催し、全員の意見を介護計画に反映し、きめの細かい計画を作成している。家族の意見や意向も尊重している。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	毎月のケアプラン会議に加え、介護計画見直しのためのサービス担当者会議を実施し、3ヵ月毎（変化のない場合は6ヵ月）に計画の見直しを行なっている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	かかりつけ医や理美容院への送迎を行なっている。週に1度看護師の来訪による利用者の健康チェックを行なっている。また地域での介護相談も受けている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	提携医療機関から、2週間に1度往診に来ていただいている。週に1度の看護師による健康チェックも行なっている。利用者と家族の希望で、従来のかかりつけ医とホームの提携医療機関の両方を選択できる。医療機関との関係は良好である。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	「看取りの方針」という文書で家族に方針を伝え、同意書に署名・捺印をいただいている。重度化した場合の方針は、ホーム内で共有化されている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者の尊厳を尊重し、言葉かけについては特に注意を払い、気になった場合はすぐに対応している。個人情報の管理も徹底しており、利用者個人のファイルなどは、事務室に保管され、利用者や家族からは見えにくくなっている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者は自分のペースでゆったりと過ごしており、ホームからの押し付けはせず、食事や入浴、起床、体操、散歩など、利用者の体調や希望に合わせて支援している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	職員が利用者と一緒に、楽しく食事をしており、必要に応じて介助を行なっている。食事は季節感や彩りの工夫が見られる。調理や片付けに利用者が参加していただくこともある。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴の曜日や長さなど、なるべく利用者の希望に合わせている。入浴を拒む方には入浴剤を入れたり、入浴後マッサージを行なうなどの工夫をしている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	日々の生活の中で食事の片付け、畑仕事、カーテンの開閉など、役割を持っていただいている。カラオケ、体操、絵などの楽しみごとにも取り入れている。小学生の来訪があったり、ボランティアの方々の受け入れもしている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	日常的に買物や散歩を行なっている。利用者の中には、毎日のように買物に行く方もいる。年に4回程度全体的な行事を企画し外出している。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	職員は鍵をかけることの弊害を理解しており、日中は玄関の鍵をかけておらず、玄関に設置したセンサーにより、利用者の外出の際は職員にわかるようになっている。		

札幌市手稲区 グループホーム 自由の大地

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	7月に消防署の指導のもと夜間も想定した避難訓練を行なっている。救命講習は職員全員が受講済みである。運営推進会議で地域住民の方々に災害時の協力をお願いしており、緊急時の対応ができる。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	献立は、定期的に栄養士のチェックを受け指導してもらっている。カロリーを計算し把握している。食事量や水分摂取量をバイタル表に細かく記録している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用空間は広くゆったりしており清潔に保たれている。ホームが丘の上で、非常に眺望がよく、大きな窓から眺めを楽しむことができる。不快な臭いや音、光もないよう配慮されている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には、利用者一人ひとりの馴染みのものが持ち込まれ、安心して過ごせる場所となっている。		

※ は、重点項目。

※ WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。